

常任委員会 (部門別)の審査

9月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案9件と請願2件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。

※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

総務

沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決をはかるよう国に意見書の提出を求める件

本請願は、紹介議員ならびに参考人として請願者のうち3名の出席を求め審査を行いました。

質疑・討論の後、本請願を採択することについて採決し、賛成多数により採択と決しました。

※なお、9月26日の定例会最終日に委員長から審査経過ならびに結果の報告があり、討論・採決の結果、本会議においては、賛成少数により不採択と決しました。

問 今回44名の方が請願者となるに至ったきっかけは。また、沖縄に関する問題について越谷市議会から意見書を提出する意義は。

答(参考人) 請願を通じて国や社会に訴えることができるのではないかと意見が増えていき、次第に請願者も増えた。また、越谷市は平和都市宣言をしており、全国的に広がっていく契機になると考えている。

問 特に北朝鮮は国交も正常化されておらず、対話ができない状況のなかで、危険を回避できると考えているのか。

答(参考人・紹介議員) 北朝鮮が日本と信頼関係を持てるようになれば、ミサイル攻撃や核開発の必要性も減り、脅威の削減が可能と考える。相手が対話に乗らないとしても、こちらからの外交努力は続けてもらいたい。

▶**発言** 反撃能力は、やむを得ない必要最小限度の自衛の措置として行使されるものである。現状において、政府は沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決を図る努力を惜しまず頑張っているものと考えている。

▶**賛成討論** 石垣市議会は長射程ミサイルの石垣島配備について、到底容認できないとする意見書を採択した。今年、日本は戦後78年になり、この平和がずっと続くよう願うのは市民の強い思いであるとの理由から、本請願に賛成する。

▷ 日本政府、中国政府の両政府から互いに脅威とならないとの合意について、順守するという表明がされており、大変重要な到達点と言える。日本政府に努力してほしい、そして、本市議会からもこの声を政府に届けてほしいという願意に賛同し、本請願に賛成する。

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の議決に関する条例制定について

問 サンシティ整備スケジュールの遅れは想

定されるか。

答 附属機関の立ち上げ等に相応の時間が掛かると考えられること等を考慮すると、いつ事業に着手できるか等については予断を持って答えることはできないが、現在計画で掲げている令和11年度のリニューアルオープンはいささか厳しい状況にあると考える。

問 本議案の法的根拠である、地方自治法第96条第2項を活用していくことについての見解は。

答 同条第1項では市政運営上の重要事項は網羅されておらず第2項を積極的に活用すべき、との論調がある一方、同法の首長の専属事項を踏まえ第2項の活用は極力抑制すべき、との論調もある。一律に判断するのではなく、例えば一定の基準を設けるとしても、時間をかけて慎重に検討すべきものであると考える。

民生

健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める件

本請願は、紹介議員ならびに参考人として請願者のうち3名の出席を求め審査を行いました。

質疑・討論の後、本請願を採択することについて採決し、賛成少数により不採択と決しました。

※なお、9月26日の定例会最終日に委員長から審査経過ならびに結果の報告があり、討論・採決の結果、本会議においても、賛成少数により不採択と決しました。

問 現行保険証の廃止の中止を求める理由は。

答(参考人) マイナ保険証を利用しない方が、資格確認書を取得する必要性について、納得できる説明がされていない。資格確認書は、現行の健康保険証と取り扱いがほぼ変わらず、発行には今以上の税金が必要となる。現行保険証を継続するほうが合理的であると考える、保険証の廃止は見直していただきたい。

問 マイナ保険証のメリットは。

答(執行部) 転居時などの健康保険証の作り直しや、更新作業が不要となる。また、一元的に情報を集約できるため、保険証の誤使用がなくなるほか、限度額適用認定証の取得手続きを行うことなく医療機関で情報の確認ができる。さらに、同意があれば、診療情報などを医師等が確認でき、効果的な医療が期待できる。確定申告時の医療費控除への活用もできる。医療機関の事務軽減も期待できる。

▶**発言** マイナンバーカードは市民の利便性向上や業務効率化に寄与しており、マイナ保険証についても、コスト削減や効果的な医療の実現につながっている。ひも付け誤り等はあってはならないが、繰り返さないことが重要であり、国は再発防止対策と説明に努める必要がある。保険証の廃止延長などであれば願意の検討も考えられるが、廃止の中止は市民や医療機関の理解が得られないと考える。

▷ マイナ保険証により、市では総点検を押し付けられている。また、医療機関の中には、現行保険証の廃止に反対するポスターを掲示したり、署名を置いている場所がある。また、世論調査でも、今のスケジュールのまま現行保険証を廃止すべきという声は少数である。これらのことから、当該請願は市民の声を代弁したものであると受け止めるべきである。

▶**賛成討論** マイナ保険証を巡るトラブルの報道は後を絶たないが、国は現行の健康保険

証廃止を撤回しようとしめない。リスクやデメリットにも触れていない。この国の態度が、市民や医療機関、市政運営に混乱をさせていることは否定できない。混乱の軽減解消には、現行の健康保険証の継続が簡単で効果的であると考えることから、本請願に賛成する。



環境経済・建設

市道路線の認定について

「廃止した路線の終点を変更するにあたっての、市道認定の考え方」に関する質疑がありました。

子ども・教育

越谷市立体育館条例の一部を改正する条例制定について

問 体育館の名称を「越谷市立地域スポーツセンター」とした経緯は。

答 大沢地区自治会連合会や体育協会、レクリエーション協会等へのアンケートで得票数が最も多かった「越谷市立地域スポーツセンター」とした。なお、地域の住民からは「大沢」の名前を入れてほしいとの意見もあったが、市民全体で使用する体育館であることなどを説明し、ご理解をいただいた。



越谷市立地域スポーツセンターの完成イメージ

越谷市立小中一貫校整備PFI事業に係る特定事業契約の締結について

問 小中一貫校事業費の増額理由は。また、契約後に建築費用を増額する可能性は。さらに、建物完成後の学園での教育方針は。

答 建築費等の高騰が原因と捉えている。また、今回事業者からいただいたプランは要求水準書を満たしているうえに、やや優れていると全審査員が評価しているものであり、現在のところ増額は考えていない。ただし、今後学校現場へのヒアリング等により、増額する可能性はあるが、基本的には予算内に収めることを中心に考えていきたい。さらに、本市初の小中一貫校の設立であるため、それぞれの学園でコンセプトをもって教育活動を進めていきたい。

▶**反対討論** 計画策定にあたり、保護者等からの意見聴取が不足している。課題に対してもこれから考えるとの話で具体的な対応策になっておらず、教育委員会の都合による施設建設ありきで、子どものための計画とは言えないと考える、本議案に反対する。